

(0632300012-0)

令和 6 年度 施工

工 事 () 設 計 書

工 事 場 所

鳥取市 高路 地内

工 事 名

高路地内消火栓移設工事

工 期

着 工 令 和 年 月 日

完 成 令 和 年 月 日

鳥取市水道局

変更設計金額

工事金

円

元設計金額

< 理 由 >

鳥取県鳥取県土整備事務所河川砂防課施行、急傾斜地崩壊対策工事（高路B地区）に伴う消火栓移設工事

< 概 要 >

(移設)

新設配水管 HPPE φ 100 L=8. 2m

新設消火栓 HPPE φ 75 1基（地上式）

(廃止)

廃止配水管 VP. RR φ 100 L=6. 4m

積 算 情 報 表

(0632300012-0)

P. 4

項 目	内 容	項 目	内 容
積算区分	実施		
変更回数	当初		
積算基準 ^ハ ター	45: 令和5年度厚労省基準 (消費税10%)		
設計年度	令和06年度		
単価適用地区	03 鳥取市		
単価適用日付	令和06年04月15日 (21)		
適用率	01 開削工事及び小口径推進工事等		
前払金支出割合区分	35%を超え40%以下		
共通仮設費補正	一般交通影響あり②		
週休2日補正	0: 補正しない		
現場環境改善費	計上しない		
現場環境改善費地域			
現場管理地域補正	一般交通影響あり②		
熱中症対策補正	なし		
契約保証費率	金銭的保証		
豪雪補正	補正有		

本 工 事 内 訳 表

費目	工種	種別	細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	直接工事費				式	1			
	共通仮設費				式	1			
		対象外費			式	1			
			管材費		式	1			
		処分費等			式	1			
		処分費等対象額			式	1			
		処分費等 (3%超過分)			式	1			
		対象額			式	1			
		率計算分			式	1			
	純工事費				式	1			

本 工 事 内 訳 表

費目	工種	種別	細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	現場管理費				式	1			
		対象外費			式	1			
		対象額			式	1			
		率計算分			式	1			
	工事原価				式	1			
	一般管理費等				式	1			
		一般管理費			式	1			
			対象額		式	1			
			率計算分		式	1			
		契約保証費			式	1			

第1号の1		消火栓移設工 1式当たり内訳書					HPPE φ100, φ75	
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
材 料	小 計	式	1					
水道配水用ポリエチレン管 甲切管	HPPE φ100	本	2				(JWWA K 144), 管材費	
水道配水用ポリエチレン管 乙切管	HPPE φ100	本	4				(JWWA K 144), 管材費	
両受バンド	HPPE φ100×90°	個	2				(JWWA K 145), 管材費	
片受バンド	HPPE φ100×90°	個	2				(JWWA K 145), 管材費	
両受チーズ	HPPE φ100×φ75	個	1				(JWWA K 145), 管材費	
メカニカル異種管継手	配ポリ×VP(鋼管)用 φ100	個	2				離脱防止付, 内外面粉体塗装, FCD製, 管材費	
水道配水用ポリエチレン管 甲切管	HPPE φ75	本	1				(JWWA K 144), 管材費	
水道配水用ポリエチレン管 乙切管	HPPE φ75	本	1				(JWWA K 144), 管材費	
EFソケット	HPPE φ75	個	1				(JWWA K 145), 管材費	

第1号の2		消火栓移設工 1式当たり内訳書					HPPE φ100, φ75	
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
ソフトシール弁(両挿し口付)	7.5K HPPE用 φ75	基	1				管材費	
EFフランジ	GF形 FCD製 φ75	個	2				(JWWA K 145参考品), 管材費	
両受バンド	HPPE φ75×90°	個	1				(JWWA K 145), 管材費	
地上式消火栓	打倒式 副弁付 短管・乙管あり 弁体引抜 放水口回転式 H=1000用	基	1				見積, 管材費	
布 設	小 計	式	1					
硬質塩化ビニル管切断工	呼び径100mm	口	2				第4号単価表	
ポリエチレン管据付工	呼び径100mm 融着接合	m	8.2				第5号単価表	
ポリエチレン管切断工	呼び径100mm	口	6				第6号単価表	
ポリエチレン管継手工	(2口当り) 呼び径100mm 融着継手	箇所	3				第7号単価表	
ポリエチレン管継手工	呼び径100mm 融着継手	口	4				第8号単価表	

第1号の3		消火栓移設工 1式当たり内訳書					HPPE φ 100, φ 75	
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
継手工	ドレッカー型ジョイント(特殊) 呼び径100mm	箇所	2				第9号単価表, (HPPE, VP)	
管明示テープ工 (ポリエチレン管)	HPPE φ 100	m	8.2				第10号単価表	
管明示シート工		m	8.2				第11号単価表	
ポリエチレン管据付工	呼び径75mm 融着接合	m	3.6				第12号単価表	
ポリエチレン管切断工	呼び径75mm	口	3				第13号単価表	
ポリエチレン管継手工	(2口当り) 呼び径75mm 融着継手	箇所	2				第14号単価表	
ポリエチレン管継手工	呼び径75mm 融着継手	口	3				第15号単価表	
管明示テープ工 (ポリエチレン管)	HPPE φ 75	m	3.6				第16号単価表	
管明示シート工		m	1.7				第11号単価表	
継手工	フランジGF 呼び径75mm	箇所	2				第17号単価表, 7.5K	

第1号の4		消火栓移設工 1式当たり内訳書					HPPE φ 100, φ 75	
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
消火栓設置工	機械施工 地上式 単口消火栓 フランジ種別GF	箇所	2				第1号単価表	
消火栓撤去工(仮設)	機械施工 地上式 単口消火栓	箇所	1				第18号単価表	
土 工	小 計	式	1					
舗装版切断	アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	m	22				第19号単価表	
小型バックホウによる舗装版直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホウ 排対2次 山積0.13m ³ (平積0.1m ³)	m ²	6				第20号単価表	
アスファルト塊処理	小型BH山積0.13m ³ タンク 2t積 DID区間無し 良好 運搬距離4.2km	m ³	0.4				第21号単価表	
再資源化施設受入費	アスファルト塊(切削,掘削) 上原	t	1				処分費,	
小型バックホウ掘削積込	排対2次 山積0.13m ³ (平積0.1m ³)	m ³	9				第22号単価表	
管路埋戻(機械埋戻・小型バックホウ)	タンク 締め 発生土 バックホウ 排対2次 山積0.13m ³ (平積0.1m ³)	m ³	7				第23号単価表	
発生土処理	小型BH山積0.13m ³ タンク 2t積 DID区間無し 良好 運搬距離3.6km	m ³	9				第24号単価表	

第1号の5		消火栓移設工 1式当たり内訳書					HPPE φ100, φ75	
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
建設残土処分料	地山 有富	m ³	9				処分費	
路盤工	再生クラッシャーラン RC-40 施工幅1.8m未満 t=0.2m(1層)	m ²	6				第25号単価表	
路盤工	粒度調整碎石 M-30 施工幅1.8m未満 t=0.13m(1層)	m ²	6				第26号単価表	
路盤工	粒度調整碎石 M-30 施工幅1.8m未満 t=0.15m(1層)	m ²	3				第27号単価表	
アスファルト舗装(人力)	車道・路肩部 再生密粒度アスコン(13) 舗装厚30mm 瀝青材散布なし	m ²	6				第28号単価表	
交通整理員(交通誘導員B)	昼間勤務	人・日	6				第29号単価表	
ポンプ運転工	作業時排水, 発動発電機 ポンプ1台	日	0.5				第30号単価表, 下水道用設計標準歩掛表	
ポンプ据付・撤去工		箇所	2				第31号単価表, 下水道用設計標準歩掛表	
合 計		式	1					

第2号		管撤去工 1式当たり内訳書					VP. RR φ 100, φ 75	
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
撤 去	小 計	式	1					
硬質塩化ビニル管切断工	撤去管 呼び径100mm	口	2				第32号単価表	
管撤去工	VP. RR φ 100	m	6.4				第33号単価表, 形式撤去	
消火栓撤去工(廃止消火栓)	機械施工 地上式 単口消火栓	箇所	1				第34号単価表	
硬質塩化ビニル管切断工	撤去管 呼び径75mm	口	2				第35号単価表	
管撤去工	VP. RR φ 75	m	1.9				第36号単価表, 形式撤去	
合 計		式	1					

第1号

消火栓設置工 1箇所当たり単価表

機械施工 地上式 単口消火栓
フランジ種別GF

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
消火栓設置工	機械施工 地上式 単口消火栓	箇所	1				第41号単価表
フランジボルト・ナット	ステンレス M16×75	本	4				管材費
GF形ガスケット	φ75	個	1				管材費
コンクリート	小型構造物 24-12-25(20)BB 人力打設	m3	0.05				第42号単価表
管路埋戻(機械埋戻バックホ)	タンパ締固め 再生クラッシュレン RC-40 バックホ 排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3)	m3	0.2				第43号単価表
型枠	一般型枠 小型構造物	m2	0.5				第44号単価表
合 計		箇所	1				

第2号

ポンプ運転工 1日当たり単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊作業員		人	0.11			9	
普通作業員		人	0.05			9	
工事用水中ポンプ損料		日	1			9	第3号単価表
発動発電機	ガソリンエンジン駆動 定格容量3kVA	日	1			9	
諸雑費		%	18				
合 計		日	1				
排水区分 電源区分	A = 01 作業時排水 B = 02 発動発電機			ポンプ台数C = 01 ポンプ1台 工事用水中ポンプ規格D = 01 普通型(潜水ポンプ) 口径50mm全揚程5m			

第3号

工事用水中ポンプ損料 1日当たり単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
工事用水中モータポンプ	普通型(潜水ポンプ) 口径φ50mm全揚程5m	台	1				
合 計		日	1				
排水区分 ポンプ台数	A = 01 作業時排水 B = 01 ポンプ1台			工事用水中ポンプ規格C = 01 普通型(潜水ポンプ) 口径50mm全揚程5m			

設計数量計算書【起工】

高路地内消火栓移設工事

消火栓移設工

舗装版 切断工

規格	計算式	数量 (m)	備考
As t=150以下	9.2m × 2 + 0.6m × 2	19.60	県道HPPE φ 100
	1.4m × 2	2.80	県道HPPE φ 75
	合計	22.40	
		22	設計値

舗装版 取り壊し積み込み工

規格	計算式	数量 (m2)	備考
As t=60	9.2m × 0.6m	5.52	県道HPPE φ 100
	1.4m × 0.6m	0.84	県道HPPE φ 75
	合計	6.36	
		6	設計値

再資源化施設運搬・受入費 (As 上原L=4.2km DID: なし)

規格	計算式	数量	備考
As t=60	6.36m2 × 0.06m	0.38	
	小計	0.38	
		0.4	(m3) 設計値
	0.38m3 × 2.35t/m3 = 0.89t	0.89	(t) 設計値
	合計	0.89	
		1	(t) 設計値

管路掘削(機械)

規格	計算式	数量 (m ³)	備考
土砂	3.8m × 0.6m × 0.76m	1.73	県道HPPE φ 100 H=700 接続箇所
	5.4m × 0.6m × 1.06m	3.43	県道HPPE φ 100 H=1000
	1.4m × 0.6m × 1.03m	0.87	県道HPPE φ 75 H=1000
	1.9m × 0.6m × 1.09m	1.24	民地HPPE φ 75 H=1000
	2.0m × 0.6m × 1.09m	1.31	本設 民地HPPE φ 75 H=1000
	1.5m × (0.6m × 0.79m - 0.01m ²)	0.70	既設撤去 民地VP φ 75 H=700
	合計	9.28	
		9	設計値

管路埋戻(機械)

規格	計算式	数量 (m ³)	備考
真砂土	3.8m × (0.6m × 0.46m - 0.01m ²)	1.01	県道HPPE φ 100 H=700 接続箇所
	5.4m × (0.6m × 0.76m - 0.01m ²)	2.41	県道HPPE φ 100 H=1000
	1.4m × (0.6m × 0.73m - 0.01m ²)	0.60	県道HPPE φ 75 H=1000
	1.9m × (0.6m × 1.09m - 0.01m ²)	1.22	民地HPPE φ 75 H=1000
	2.0m × (0.6m × 1.09m - 0.01m ²)	1.29	本設 民地HPPE φ 75 H=1000
	1.5m × 0.6m × 0.79m	0.71	既設撤去 民地VP φ 75 H=700
	合計	7.24	
	7	設計値	

発生土処理 (有富 L=3.6km DID: なし)

規格	計算式	数量 (m ³)	備考
土砂	9.28m ³	9.28	
	合計	9.28	
		9	設計値

路盤工

規格	計算式	数量 (m ²)	備考
RC-40 t=200 下層	9.2m × 0.6m	5.52	県道HPPE φ 100
	1.4m × 0.6m	0.84	県道HPPE φ 75
	合計	6.36	
		6	設計値
M-30 t=130 上層	9.2m × 0.6m	5.52	県道HPPE φ 100
	1.4m × 0.6m	0.84	県道HPPE φ 75
	合計	6.36	
		6	設計値
M-30 t=150 上層	1.9m × 0.6m	1.14	民地HPPE φ 75
	2.0m × 0.6m	1.20	本設 民地HPPE φ 75
	1.5m × 0.6m	0.90	既設撤去 民地HPPE φ 75
	合計	3.24	
		3	設計値

仮舗装工

規格	計算式	数量 (m ²)	備考
As t=30 車道 再生密粒度As(13)	9.2m × 0.6m	5.52	県道HPPE φ 100
	1.4m × 0.6m	0.84	県道HPPE φ 75
	合計	6.36	
		6	設計値

現場説明書

特記事項1

令和6年4月1日調達公告以降適用

仕様書	<p>①この契約において適用する仕様書は特に定めのない限り「鳥取市水道局水道工事標準仕様書」とし、調達公告日時点で最新の仕様書によること。また、この仕様書に定めのない事項は、「鳥取県土木工事共通仕様書」によること。</p> <p>②鳥取県土木工事共通仕様書特記事項第2条の表1-1-1-9工事の下請負の項中「鳥取県調査基準価格及び最低制限価格等設定要領第5条」とあるのは、「鳥取市水道局建設工事低入札価格調査制度実施要領（平成11年11月15日制定）第4条」と読み替えるものとする。</p> <p>③鳥取県土木工事共通仕様書特記事項第2条の表1-1-1-35諸法令の遵守の項中「鳥取県暴力団排除条例（平成23年鳥取県条例第3号）」とあるのは「鳥取市暴力団排除条例（平成24年3月鳥取市条例第1号）」と読み替えるものとする。</p>										
工程	<p>①(他工事等との調整) <u>本工事</u>については、<u>鳥取県鳥取県土整備事務所河川砂防課施行、急傾斜地崩壊対策工事(高路B地区)</u>と関連するので相互の連絡調整を密にすること。</p> <p>②(部分完成、着工保留) _____ については、 _____ まで _____ (すること、しないこと)。</p> <p>③(施工時間) 本工事の施工時間帯は、昼間施工(8:30~17:00)を見込んでいる。 _____ の施工時間は、 _____ : _____ ~ _____ : _____ とする。</p> <p>④(標準工期) 本工事における標準工期については以下の条件で算定している。また、余裕期間設定工事については実工期に余裕期間を加えたものを標準工期としている。</p> <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>適用</th></tr></thead><tbody><tr><td>工期の設定方法</td><td>標準工期算定式・標準作業量による積み上げ日数</td></tr><tr><td>本工事に使用する雨休率</td><td>0.88 (H30~R4の5年間平均値)</td></tr><tr><td>休日・悪天候以外の作業不能日</td><td>日(令和 年 月 日~令和 年 月 日)</td></tr><tr><td>標準工期(全体工期)</td><td>54日(余裕期間含む・含まない)</td></tr></tbody></table> <p>⑤(余裕期間設定工事) 本工事は、鳥取市水道局余裕期間設定工事に係る実施要領の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 標準工期については、④のとおりとする。</p> <p>⑥(鋼材の調達の遅れによる工期の延長) この工事の工期には、鋼材調達期間として、 _____ ヶ月を見込んでいるが、受注者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。</p> <p>⑦(週休2日工事) 本工事は、鳥取市水道局「週休2日工事」実施要領の対象工事である。</p>	項目	適用	工期の設定方法	標準工期算定式・標準作業量による積み上げ日数	本工事に使用する雨休率	0.88 (H30~R4の5年間平均値)	休日・悪天候以外の作業不能日	日(令和 年 月 日~令和 年 月 日)	標準工期(全体工期)	54日(余裕期間含む・含まない)
項目	適用										
工期の設定方法	標準工期算定式・標準作業量による積み上げ日数										
本工事に使用する雨休率	0.88 (H30~R4の5年間平均値)										
休日・悪天候以外の作業不能日	日(令和 年 月 日~令和 年 月 日)										
標準工期(全体工期)	54日(余裕期間含む・含まない)										
用地関係	<p>①(用地、物件等未処理) 本工事区間の _____ には _____ があるので、監督員と打合せのうえ施工を行うこと。 なお、 _____ 頃 _____ の予定である。</p>										
支障物件	<p>①(埋設物等の事前調査) 工事に係る地下埋設物等の事前調査については、[未調査・(水道・下水道・電気・通信・ガス・その他 _____)] について調査済み] である。 事前調査済みのうち本工事区域内で埋設が確認されている地下埋設物等は、(水道・下水道・電気・通信・ガス・その他 _____) であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。 その他埋設が想定される未調査の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設物等が確認された場合は、監督員に報告すること。</p> <p>②(支障物件) _____ の施工に当って、 _____ が支障となっているが、 _____ までに移設が完了する見込である。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。</p> <p>③(立木の置き場所) 工事用地内の立木は伐採し、 _____ に置くこと。</p>										
公害対策	<p>①(低騒音型・低振動型建設機械) 本工事のうち施工箇所： _____ については、特に生活環境を保全する必要があるため、下記工種の施工に当たっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定(国土交通省告示、平成13年4月9日改正)に基づき指定された建設機械を使用するものとする。 該当工種： _____、施工機械： _____</p>										

現場説明書

特記事項 2

安全対策	<p>① (交通安全施設等) 一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。なお、交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。</p> <p style="margin-left: 20px;">交通誘導員A <u> </u>人 交替要員 <u> </u>人 1日あたり合計 <u> </u>人 配置日数 <u> </u>日 工事全体合計 <u> </u>人・日</p> <p style="margin-left: 20px;">交通誘導員B <u> </u>人 交替要員 <u> </u>人 1日あたり合計 <u> </u>人 配置日数 <u> </u>日 工事全体合計 <u> </u>人・日</p> <p>警備業法に規定する警備員を配置する場合には、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。</p> <p>交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4項に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。</p> <p>なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置していることとみなす。</p>
排水・濁水処理	<p>①(濁水処理) 工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。</p> <p>なお、これにより難しい場合は別途協議すること。</p> <p>また、舗装の切断作業時に発生する排水の処理についても、舗装の切断作業時に発生する排水の処理について(平成29年10月3日付事務連絡生活環境課長通知)に基づいて適正に処理すること。</p> <p>(参考URL https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1141896/120327hosousetudan.pdf)</p> <p>②(千代川水系における濁水防止対策)</p> <p>本工事は千代川水系内における工事であり、濁水防止対策等については、千代川漁業対策協議会事業調整会議において〔未調整・調整済み〕である。</p> <p>なお、未調整工事については、<u> </u>までに調整を行う予定である。</p> <p>工事の実施にあたっては、特記事項7、8を遵守し、汚濁等の防止に努めること。</p>
建設副産物の処理	<p>【建設発生土(処理)】</p> <p>建設発生土は、再生資源の利用の促進に係る特記仕様書 (https://www.pref.tottori.lg.jp/312034.htm) により適切に対応すること。</p> <p>①(他工事等流用) 建設発生土は<u> </u>市・町・村<u> </u>地内の <u> </u>工事現場に運搬(片道運搬距離 <u> </u>km)するものとする。</p> <p>②(建設技術センター) 建設発生土は<u> </u>市・町・村<u> </u>地内のセンター事業所に運搬(片道運搬距離 <u> </u>km)するものとする。なお、処理費として1㎡当り <u> </u>円(税抜き)をセンターに支払うこと。</p> <p style="margin-left: 20px;">センター事業所へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状 (記載例)砂質土、コーン指数 300kN/m2以上)</p> <p>③(民間残土受入地) 建設発生土は <u>鳥取</u> 市・町・村 <u>有富</u> 地内の <u>中央建設株式会社</u> に運搬(片道運搬距離 <u>3.6</u> km)するものとする。なお、処理費として1t当り <u>1,100</u> 円(税抜き)を <u>中央建設株式会社</u> に支払うこと。</p> <p style="margin-left: 20px;">民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各受入地が指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状 (記載例)砂質土、コーン指数 300kN/m2以上)</p> <p>④(土質改良プラント)</p> <p>建設発生土は<u> </u>市・町・村<u> </u>地内の <u> </u>に運搬(片道運搬距離 <u> </u>km)するものとする。なお、処理費として土量1m3当り <u> </u>円を <u> </u>に支払うこと。</p> <p style="margin-left: 20px;">土質改良プラントへ搬出する土砂の土質は、各プラントが指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状 (記載例)砂質土、コーン指数 300kN/m2以上)</p> <p>【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材(処理)】</p> <p>①(分別解体等) コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。その方法は、別表のとおりとする。なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。</p> <p style="margin-left: 20px;">コンクリート塊 1t当り <u> </u>円(税抜き)</p> <p style="margin-left: 20px;">アスファルト塊 1t当り <u> </u>円(税抜き)</p> <p style="margin-left: 20px;">建設発生木材 1t当り <u> </u>円(税抜き)</p>

現場説明書

特記事項 4

建設副産物の使用	<p>①(建設発生土の使用) _____ 工事から〔本工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所： _____ に使用する。なお、建設発生土は、再生資源の利用の促進に係る特記仕様書 (https://www.pref.tottori.lg.jp/312034.htm) により適切に対応すること。</p> <p>②(再生資材の使用) ア Co雑割材は、 _____ 工事から運搬し、使用箇所： _____ に使用する。 イ アスファルト・コンクリート切削殻等は、 _____ 工事から運搬し、使用箇所： _____ に使用する。 ウ 再生クラッシュラン〔規格： _____〕は、使用箇所： _____ に使用する。 エ 再生コンクリート砂〔規格：RS- _____〕は、使用箇所： _____ に使用する。 オ 再生加熱アスファルト混合物〔規格：再生密粒度As _____〕は、使用箇所： 舗装工 に使用する。 カ その他再生資材〔資材名： _____〕〔規格： _____〕は、使用箇所： _____ に使用する。 キ 本工事において、再生クラッシュランの使用は上記ウに記載のものを想定している。当該碎石について、受注者が再生資源化施設側と供給状況等について協議し、再資源化施設側から書面により供給の確保ができない旨の回答があった場合には、他の再生碎石を使用することとし、設計変更の対象とする。その上で他の再生碎石の確保も難しいと判断された場合には、新材を使用することとし、設計変更の対象とする。 ク 本工事において、粒度調整碎石の使用は新材を想定している。ただし、受注者が再生材の使用を希望する場合には、受注者において供給状況を確認し、再生材の使用について協議することとし、設計変更の対象とする。</p>
工所用道路	<p>①(農地の一時転用について) 本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に鳥取市農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得ること。 【令和5年4月1日時点で、前工事等の請負業者が一時転用している農地を継続して利用する場合は、以下も記載する。(該当がなければ記載を削除)】 受注者は、前工事等の請負業者が農地一時転用している農地を継続して利用する場合、速やかに変更報告書を作成の上、鳥取市農業委員会へ提出し、工事完了後はその旨を連絡すること。</p> <p>②(農地の賃貸借) ア _____ の用途に使用するため、鳥取市 _____ 番地を賃貸借すること。 イ 土地賃貸借契約書に「鳥取市との建設工事請負契約に基づき、土地の貸借権は鳥取市が有することとし、原状復旧の責は鳥取市が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。 ウ 賃貸人に賃貸借料を支払うこと。 エ 工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。 オ イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。</p>
仮設備	<p>①(自社施工) 本工事においては、(※) _____ 工(_____ 工を除く)のうち少なくとも _____ 千円までの部分は、鳥取県県土整備部自社施工対象工事適正実施要領(平成22年7月12日付第201000057710号県土整備部長通知)に定めるところにより自社施工しなければならない。 ※該当する細別(レベル4)を記載する。</p> <p>②(工事名称) 工事標示板に記載する名称は、 _____ 高路地内消火栓移設工事 とする。 なお、工事標示板には、原則として県産木材を使用すること。また、その他の保安施設等についても積極的に県産木材を使用すること。</p> <p>③(監督体制) 本工事の監督体制は(一般・重点)監督とする。 重点監督の工種は _____ とし、その他の工種は一般監督とする。 なお、鳥取市水道局建設工事低入札価格調査制度対象工事となった場合は、別途通知する。</p>
その他	<p>①(自社施工) 本工事においては、(※) _____ 工(_____ 工を除く)のうち少なくとも _____ 千円までの部分は、鳥取県県土整備部自社施工対象工事適正実施要領(平成22年7月12日付第201000057710号県土整備部長通知)に定めるところにより自社施工しなければならない。 ※該当する細別(レベル4)を記載する。</p> <p>②(工事名称) 工事標示板に記載する名称は、 _____ 高路地内消火栓移設工事 とする。 なお、工事標示板には、原則として県産木材を使用すること。また、その他の保安施設等についても積極的に県産木材を使用すること。</p> <p>③(監督体制) 本工事の監督体制は(一般・重点)監督とする。 重点監督の工種は _____ とし、その他の工種は一般監督とする。 なお、鳥取市水道局建設工事低入札価格調査制度対象工事となった場合は、別途通知する。</p>

現場説明書

特記事項 5

- ④(三者協議) 本工事は、_____工であり、工事着工までに、施工条件及び施工の留意点等を
確認するため、発注者並びに当該工事の測量等業務受注者及び施工受注者の三者で協議するものと
する。(重点監督工事等に適用)
- ⑤(技能士常駐) 本工事には、下記のとおり鳥取県土木工事共通仕様書特記事項に基づく技能士常駐対象工種が含ま
れており、該当工種の作業期間は、技能士が工事現場に常駐しなければならない。
1)技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁
2)技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁
3)技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁
- ⑥(寒中コンクリート) 本工事は、寒中コンクリートとして施工を行わなければならない期間があるので、適正に実施
すること。なお、寒中コンクリートの養生費用については、「寒中コンクリートの養生費用につ
いて」(平成23年12月7日付第201100123529号県土整備部長通知)に基づいて処理することとし、
設計変更の対象とする。
- ⑦(実施単価全面改訂時の適用単価) 実施単価全面改定後指名通知を行う工事は最新単価を適用することとしているが、本工事は旧
単価において積算を行っているため、契約締結後には速やかに最新単価に基づく変更契約を行う。
- ⑧(設計業務の受託者) 本工事の設計業務は、_____が行っている。
- ⑨(建設機械の賃料の採用単価)
ア 建設機械の賃料について、ラフテレーンクレーン及び高所作業車以外の建設機械は長期割引単
価を標準としている。
通常単価を採用した建設機械〔無し・有り(_____)]
イ ラフテレーンクレーン及び高所作業車については、1ヶ月以上の長期利用に当たるものは長期
割引単価を採用し、1ヶ月未満の利用に当たるものは通常単価を採用している。
本工事の_____工で使用を想定しているラフテレーンクレーン(規格_____t吊)の採用単価は、
(通常単価・長期割引単価)(建設物価_____月号_____頁)を採用し、本工事の_____工で使用を想
定している高所作業車(規格_____t吊)の採用単価は、(通常単価・長期割引単価)(建設物価_____
月号_____頁)を採用している。
- ⑩(現場環境改善) 本工事は、現場環境改善(率計上分)実施対象工事と〔する・しない〕。
下表の内容のうち原則として各費目(仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携)ごとに1実施
内容ずつ(いずれか1項目のみ2実施内容)の合計5つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業
は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。
実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出
すること。
地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計
変更は行わないが、その内容(目的に資するものであること)について監督員の確認を受けること。
1内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。

そ
の
他

計上費目	実施内容
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備, 2. 緑化・花壇, 3. ライトアップ施設 4. 見学路及び椅子の設置, 5. 昇降設備の充実, 6. 環境負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働者宿舎の快適化 3. デザインボックス(交通誘警備員待機室) 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 2. 盗難防止対策(警報機等) 3. 避暑(熱中症予防)・防寒対策
地域連携	1. 完成予想図, 2. 工法説明図, 3. 工事工程表 4. デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む) 6. 見学所(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等(地域行事等の経費を含む) 9. 社会貢献
防災・危機管理関係 (港湾・漁港事業)	1. 防災訓練(地震・台風等の自然災害に対する訓練)

⑪ (熱中症対策)

熱中症対策について <https://www.pref.tottori.lg.jp/291941.htm> に掲載の熱中症予防対策資料を参考に熱中症予防対策を実施すること。また、気象庁から高温注意報(最高気温35℃以上が予想される場合)が発表された日においては、作業の中断、作業時間の短縮を行うか、十分な水分、塩分の摂取のほか休憩場所の整備及び十分な休憩時間を確保するなどの熱中症予防対策を確実に実施したうえで作業を行うこと。

⑫ (現場管理費補正)

本工事は、熱中症対策に資する現場管理費補正の対象工事と〔する・しない〕。
熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、
<https://www.pref.tottori.lg.jp/285759.htm> に掲載の熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領に基づき、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。計測結果は施工計画書に基づき、計測結果の資料を工期末の14日前までに提出すること。

⑬ (日本芝生産地への配慮)

日本芝の生産に配慮した植生工について(令和2年2月27日付第201900299342号県土整備部長通知)に基づき、日本芝を生産するほ場と、その前後も含めたほ場に隣接する法面においては、植生工にバミューダグラスの使用を禁止する。

- ア [張芝工・筋芝工] は、日本芝の〔野芝・高麗芝〕を使用すること。
- イ [植生基材吹付工・客土吹付工・種子散布工・枠内吹付工] に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。配合種子は監督員と協議のうえ決定すること。
- ウ [わら芝工・植生シート工・植生マット工] に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。バミューダグラスの代替えの種子として〇〇を使用し、材料費として1m²当り円を見込んでいる。

⑭ (ICT活用工事[受注者希望型(LightICTを含む)])

本工事は、受注者希望型(LightICTを含む)の対象工事であるので、最新の「ICT活用工事特記仕様書(受注者希望型)」によること。

仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/269460.htm>を参照すること。

⑮ (土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事)

本工事は、労働安全衛生規則第2編第12章「土石流による危険の防止」に定める、土石流が発生する恐れのある現場において行う工事である。

安全対策について、<https://www.pref.tottori.lg.jp/295476.htm> に掲載の「土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事における安全対策について」に基づいて実施すること。

⑯ (標示板の設置)

本工事は「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく工事であり、標示板の工事種類について「国土強靱化対策工事(5か年加速化対策)」と標記すること。

標示板の記載及び記載内容については、道路・河川工事現場における標示施設の設置の徹底について(令和3年6月1日付け 国土交通省大臣官房技術調査課建設システム管理企画室長 事務連絡)を参考にすること。

⑰ (下請関係の適正化)

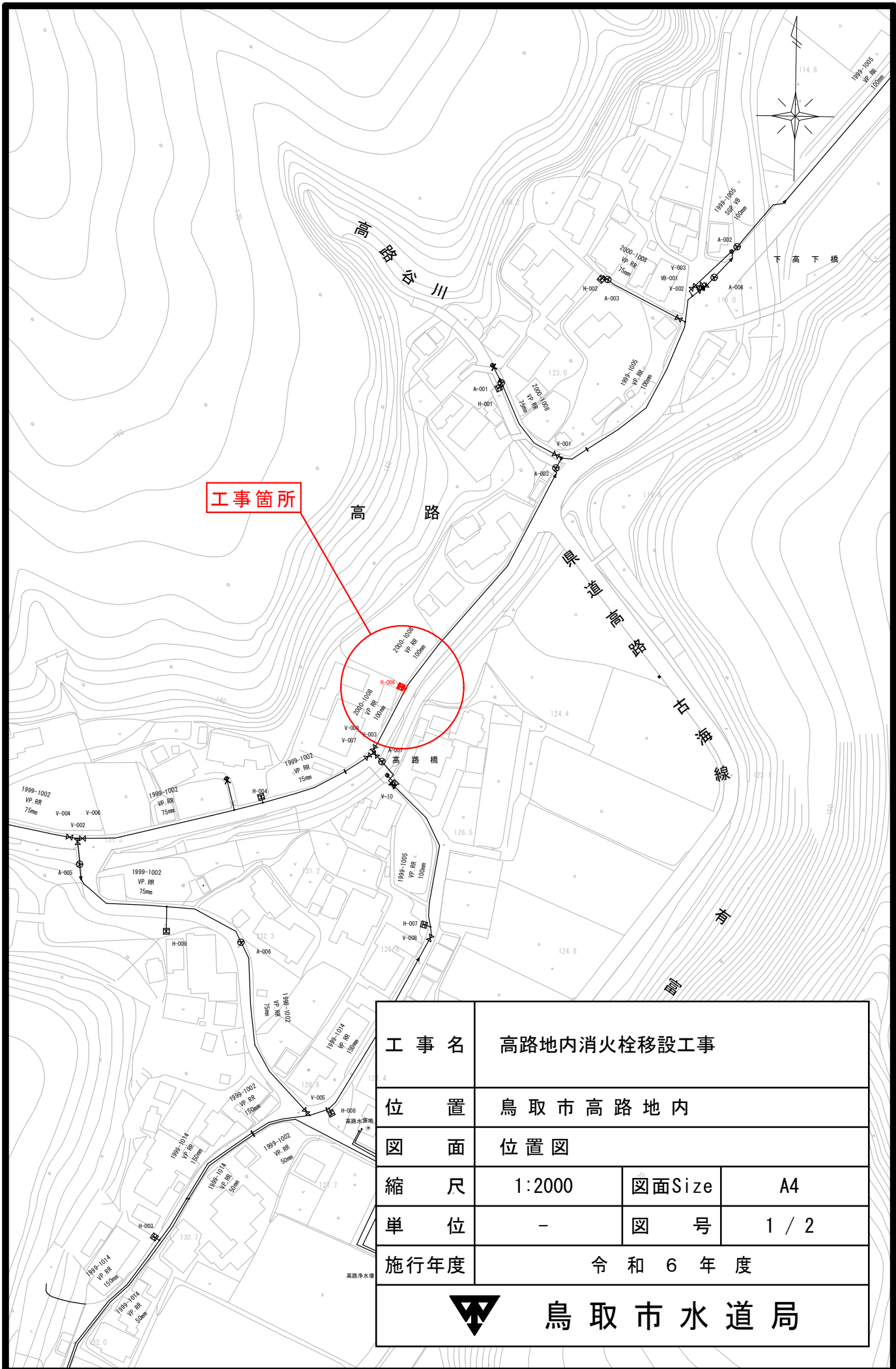
下請関係の適正化については、<https://www.water.tottori.tottori.jp/1833.htm> を参照の上労働者の福祉向上に務めること。

⑱ (断水切替:追記事項)

本工事における配水管の断水切替作業について、高路地内配水管移設工事(別途工事)と日時を調整の上、施工を行うこと。

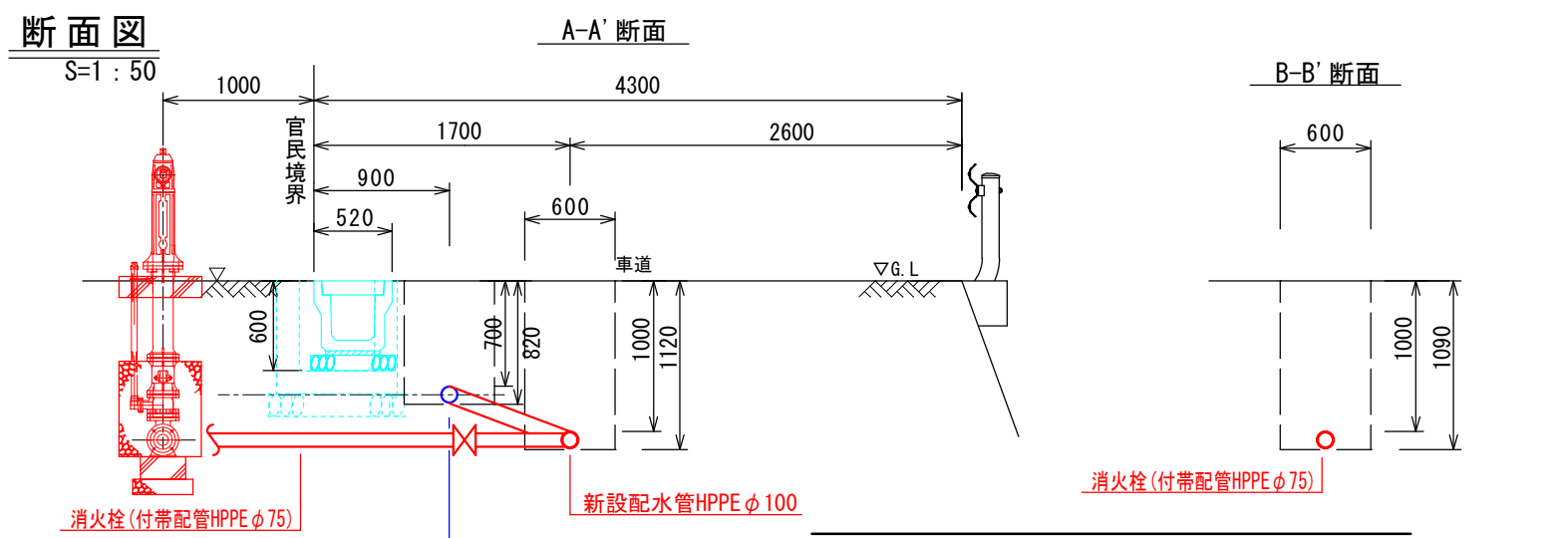
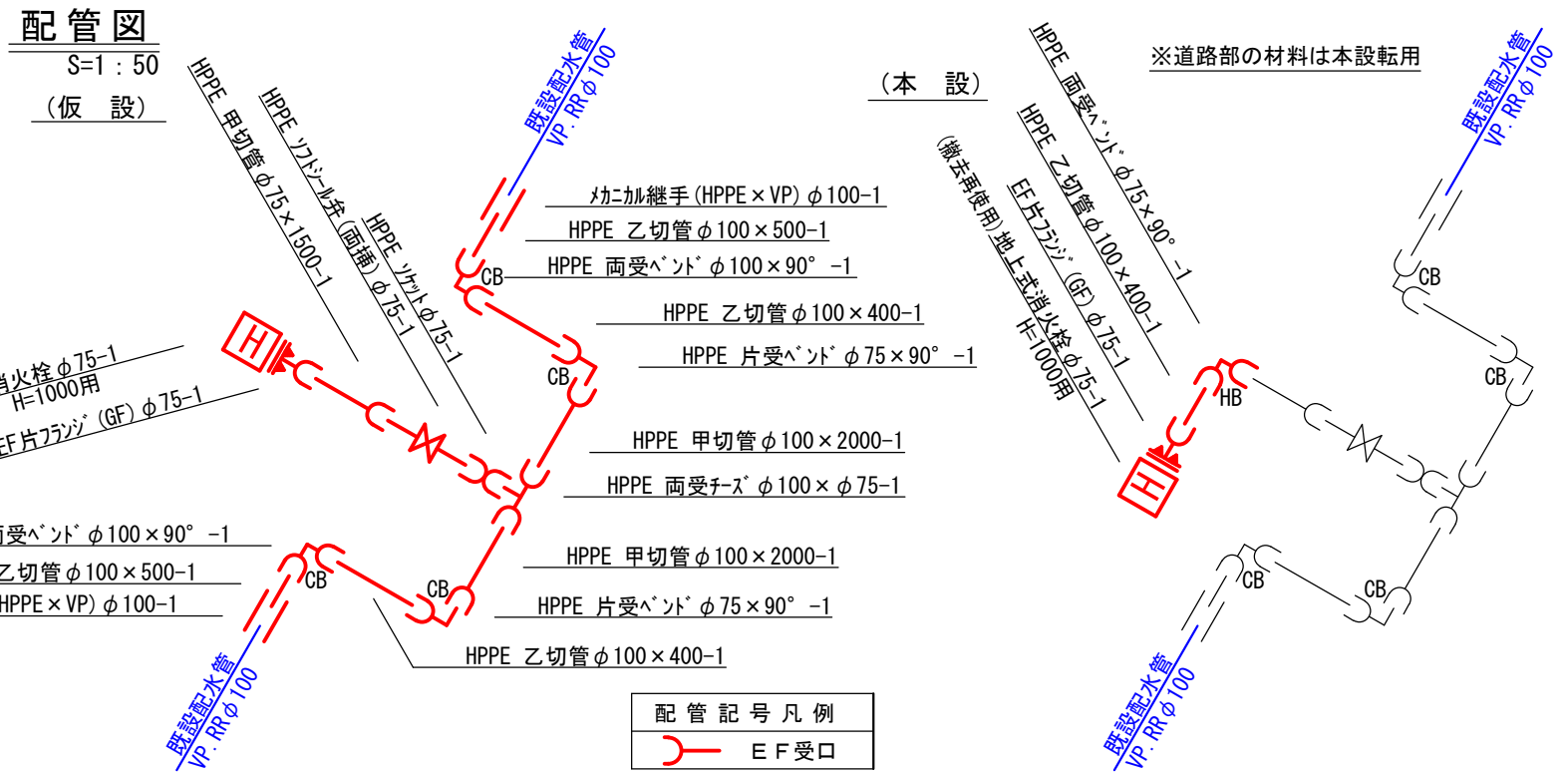
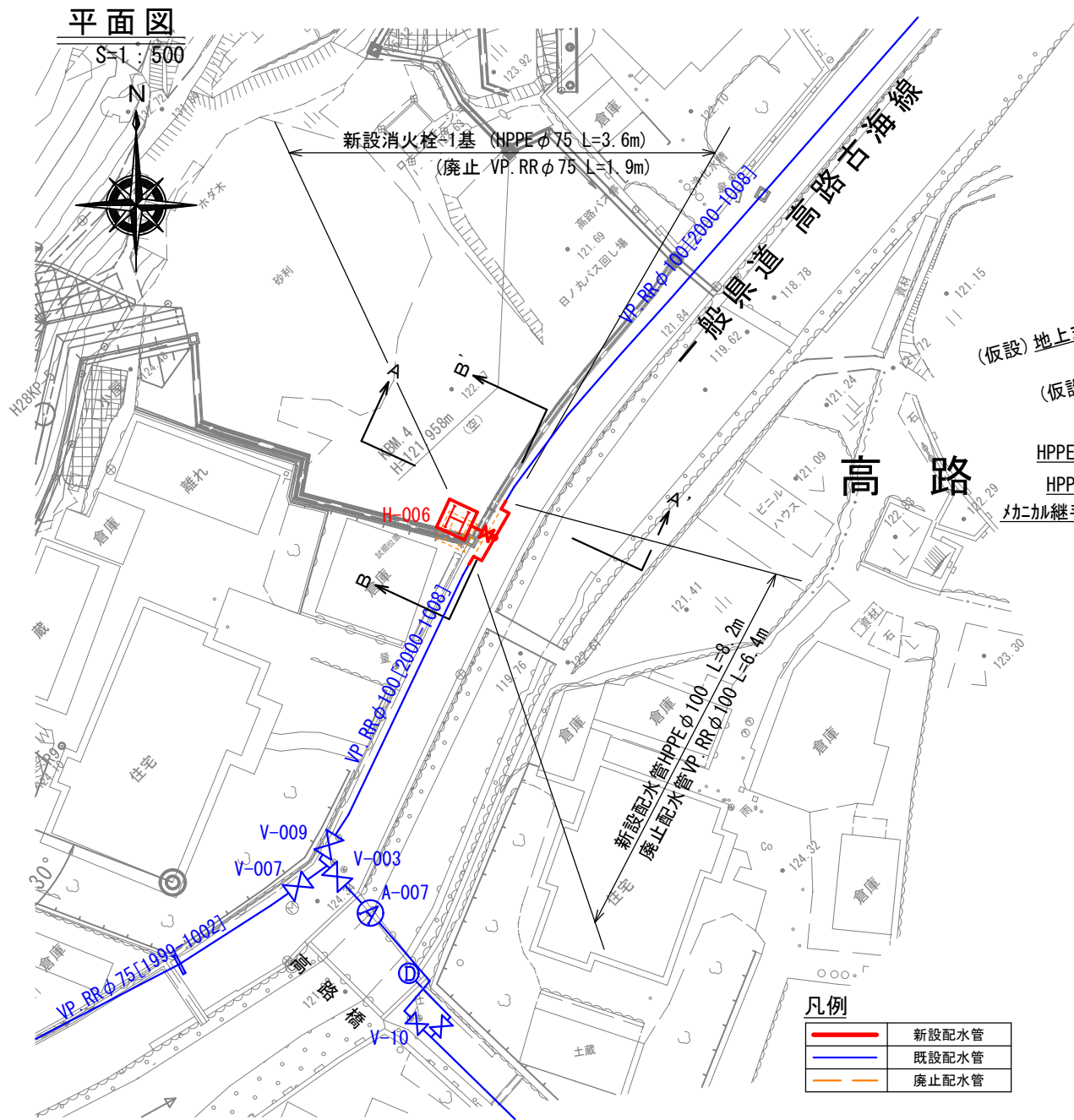
その他

※ 明示する項目を____部分に記入または追記し、不要部分は—で削除して使用すること。

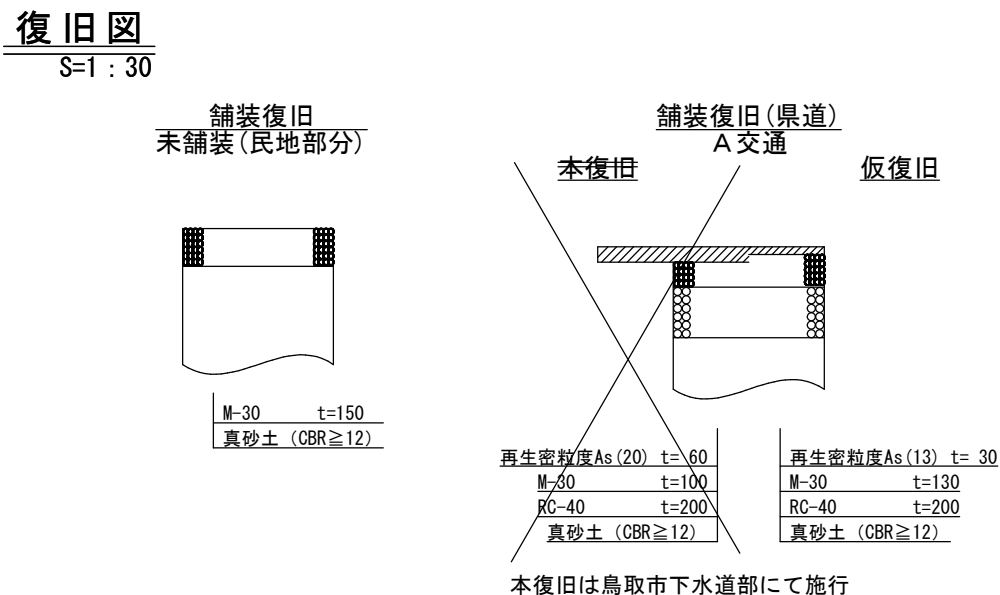
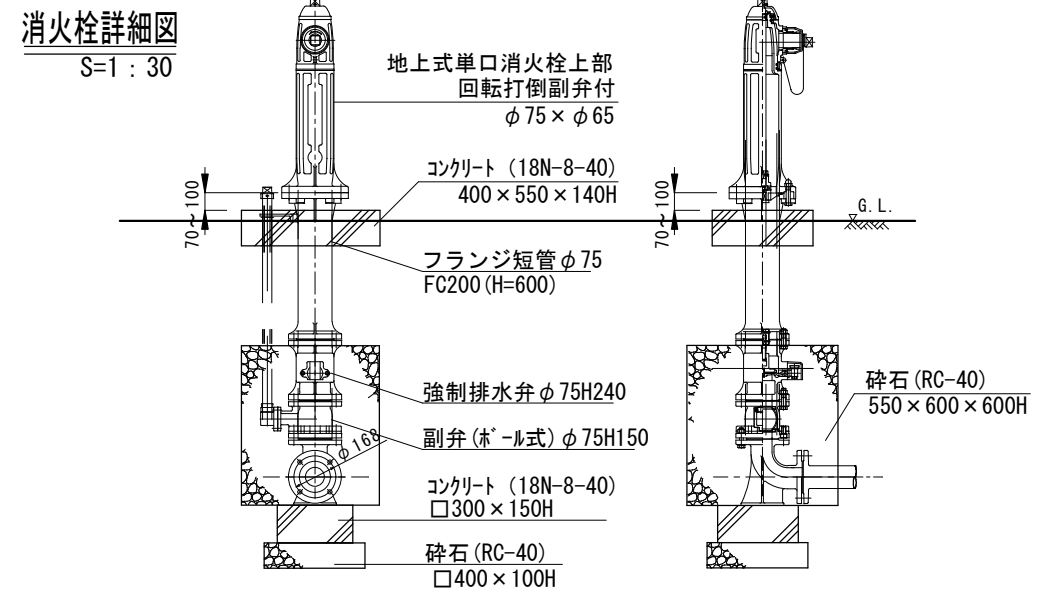


工事箇所

工事名	高路地内消火栓移設工事		
位置	鳥取市高路地内		
図面	位置図		
縮尺	1:2000	図面Size	A4
単位	-	図号	1 / 2
施行年度	令和6年度		
 鳥取市水道局			



特記：地上式消火栓については、鳥取県河川砂防課施行、排水路設置工事完了後、既設箇所へ戻す。



起工設計図

工事名	高路地内消火栓移設工事		
位置	鳥取市高路地内		
図名	平面図・配管図・消火栓詳細図・断面図・復旧図		
縮尺	図示	図面Size	A3
単位	m, mm	図号	2 / 2
施工年度	令和6年度		

鳥取市水道局

高路地内消火栓移設工事

積算参考資料

第4号 硬質塩化ビニル管切断工 1口当たり単価表 呼び径100mm							
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
配管工		人	0.02			9	
普通作業員		人	0.02			9	
諸雑費		%	5				
合 計		口	1				

第5号								呼び径100mm 融着接合	
ホリエルン管据付工 1m当たり単価表									
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要		
配管工		人	0.12						
普通作業員		人	0.2						
合 計		m	10						
単位当り		m	1						

第6号								ポリethylene管切断工 1口当たり単価表		呼び径100mm			
名	称	規	格	単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘	要
配管工				人	0.02						9		
普通作業員				人	0.02						9		
諸雑費				%	7								
合 計				口	1								

第7号

ポリエチレン管継手工 1箇所当たり単価表

(2口当り)
呼び径100mm 融着継手

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
配管工		人	0.12			9	
普通作業員		人	0.12			9	
諸雑費		%	8.5				
合 計		箇所	1				

第8号								呼び径100mm 融着継手	
ホリエル管継手工 1口当たり単価表									
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要		
配管工		人	0.084			9			
普通作業員		人	0.084			9			
諸雑費		%	8.5						
合 計		口	1						

第10号		管明示テープ工 (ポリエチレン管) 1m当たり単価表					HPPE φ100	
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
管明示テープ工(ポリエチレン管布設工)	テープの貼付手間のみ 呼び径φ100	m	100				第38号単価表	
明示テープ		m	147.1				幅50mm、年号入り	
合 計		m	100					
単位当り		m	1					

第11号

管明示シート工 1m当たり単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
普通作業員		人	0.4				
埋設標識シート	ポリエチレンクロス 150mm	m	100				折込率2倍, アルミなし
合 計		m	100				
単位当り		m	1				

第12号								呼び径75mm 融着接合	
ホリエル管据付工 1m当たり単価表									
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要		
配管工		人	0.1						
普通作業員		人	0.18						
合 計		m	10						
単位当り		m	1						

第13号								ポリethylene管切断工 1口当たり単価表		呼び径75mm			
名	称	規	格	単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘	要
配管工				人	0.01						9		
普通作業員				人	0.01						9		
諸雑費				%	7								
合 計				口	1								

第14号

ポリエチレン管継手工 1箇所当たり単価表

(2口当り)
呼び径75mm 融着継手

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
配管工		人	0.08			9	
普通作業員		人	0.08			9	
諸雑費		%	8.5				
合 計		箇所	1				

第15号								呼び径75mm 融着継手	
ホリエル管継手工 1口当たり単価表									
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要		
配管工		人	0.056			9			
普通作業員		人	0.056			9			
諸雑費		%	8.5						
合 計		口	1						

第16号

管明示テープ工 (ポリエチレン管) 1m当たり単価表

HPPE φ75

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
管明示テープ工(ポリエチレン管布設工)	テープの貼付手間のみ 呼び径φ75	m	100				第39号単価表
明示テープ		m	133.91				幅50mm、年号入り
合 計		m	100				
単位当り		m	1				

第17号

継手工 1箇所当たり単価表

フランジGF
呼び径75mm
7.5K

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
フランジ継手工	JWWA 7.5K 呼び径75(80)mm	口	1				第40号単価表
フランジボルト・ナット	ステンレス M16×75	本	4				管材費
GF形ガスケット	φ75	個	1				管材費
合 計		箇所	1				

舗装版切断 1m当たり単価表

アスファルト舗装版
アスファルト舗装版厚15cm以下第19号の1
機械構成比：6.05% 労務構成比：55.5% 材料構成比：38.45% 市場単価構成比：0% 標準単価：

代表機材規格 (積算地区)	構成比	単価 (積算地区)	代表機材規格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	4.09%		コンクリートカッター バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		
その他(機械)			その他(機械)		
特殊作業員	19.28%		特殊作業員		
土木一般世話役	9.9%		土木一般世話役		
普通作業員	8.33%		普通作業員		
その他(労務)			その他(労務)		
コンクリートカッター(ブレード) 径22インチ(550mm)	35.21%		コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		
ガソリン レギュラー スタンド	2.19%		ガソリンレギュラースタンド		
その他(材料)			その他(材料)		
積算単価			積算単価		
舗装版種別 A = 01 アスファルト舗装版		1日未満で完了する作業の適用	E = 01 -(全ての費用)		

第20号

小型バックホウによる舗装版直接掘削・積込 1㎡当たり単価表

舗装厚0cmを超え10cm以下
バックホウ 排対2次 山積0.13m3(平積0.1m3)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
土木一般世話役		人	0.49				
普通作業員		人	0.74				
小型バックホウ運転	カ-7型 排対2次 山積0.13m3(平積0.1m3)	日	0.606				第46号単価表
諸雑費		式	1				
合 計		㎡	100				
単位当り		㎡	1				

第22号		小型バックホウ掘削積込 1m3当たり単価表					排対2次 山積0.13m3(平積0.1m3)	
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
土木一般世話役		人	2.4					
普通作業員		人	6.7					
小型バックホウ運転	カ-7型 排対2次 山積0.13m3(平積0.1m3)	日	2.273				第46号単価表	
諸雑費		式	1					
合 計		m3	100					
単位当り		m3	1					

第23号

管路埋戻(機械埋戻・小型バックホ) 1m3当たり単価表

タンパ° 締固め 発生土
バックホ 排対2次 山積0.13m3(平積0.1m3)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
土木一般世話役		人	2.5				
普通作業員		人	6.8				
小型バックホ運転	カ-7型 排対2次 山積0.13m3(平積0.1m3)	日	1.538				第46号単価表
タンパ° 運転(賃料)	タンパ° 60~80kg	日	3				第48号単価表
諸雑費		式	1				
合 計		m3	100				
単位当り		m3	1				

第25号

路盤工 1㎡当たり単価表

再生クラッシャーラン RC-40
施工幅1.8m未満 t=0.2m(1層)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
普通作業員		人	0.78				
再生クラッシャーラン	RC-40	m ³	25.4				
ﾀﾝﾊﾟ 運転(賃料)	ﾀﾝﾊﾟ 60～80kg	日	0.45				第50号単価表
諸雑費		式	1				
合 計		m ²	100				
単位当り		m ²	1				

第26号

路盤工 1㎡当たり単価表

粒度調整砕石 M-30
施工幅1.8m未満 t=0.13m(1層)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
普通作業員		人	0.78				
粒度調整砕石	M-30	m ³	16.51				
ﾀﾝﾊﾞ 運転(賃料)	ﾀﾝﾊﾞ 60～80kg	日	0.45				第50号単価表
諸雑費		式	1				
合 計		m ²	100				
単位当り		m ²	1				

第27号

路盤工 1m²当たり単価表

粒度調整砕石 M-30
施工幅1.8m未満 t=0.15m(1層)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
普通作業員		人	0.78				
粒度調整砕石	M-30	m ³	19.05				
ﾀﾝﾊﾟ 運転(賃料)	ﾀﾝﾊﾟ 60～80kg	日	0.45				第50号単価表
諸雑費		式	1				
合 計		m ²	100				
単位当り		m ²	1				

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
第28号	アスファルト舗装(人力) 1㎡当たり単価表							車道・路肩部 再生密粒度アスコン(13) 舗装厚30mm 瀝青材散布なし
土木一般世話役		人	0.4			29		
特殊作業員		人	0.8			29		
普通作業員		人	1.6			29		
再生密粒度アスコン	(13)	t	7.544					
振動ローリ運転	ハトガイト式 0.5～0.6t	日	0.4			29	第51号単価表	
振動コンパクタ運転	前進型 40～60kg	日	0.8			29	第52号単価表	
諸雑費		%	6					
合 計		㎡	100					
単位当り		㎡	1					

第32号		硬質塩化ビニル管切断工 1口当たり単価表					撤去管 呼び径100mm							
名	称	規	格	単	位	数	量	単	価	金	額	雑	摘	要
配管工				人		0.005						9		
普通作業員				人		0.005						9		
諸雑費				%		5								
合 計				口		1								

第35号		硬質塩化ビニル管切断工 1口当たり単価表						撤去管 呼び径75mm						
名	称	規	格	単	位	数	量	単	価	金	額	雑	摘	要
配管工				人		0.005						9		
普通作業員				人		0.005						9		
諸雑費				%		5								
合 計				口		1								

第37号

RR継手工 1口当たり単価表

離脱防止金具使用
呼び径100mm

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
配管工		人	0.065			9	
普通作業員		人	0.065			9	
諸雑費		%	1				
合 計		口	1				

第40号

フランジ継手工 1口当たり単価表

JWWA 7.5K 呼び径75(80)mm

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
配管工		人	0.06			9	
普通作業員		人	0.06			9	
諸雑費		%	1				
合 計		口	1				

第41号

消火栓設置工 1箇所当たり単価表

機械施工 地上式 単口消火栓

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
配管工		人	0.2			9	
普通作業員		人	0.23			9	
トラック運転	クレーン装置付 4t積 2.9t吊	時間	0.57				第54号単価表
諸雑費		%	1				
合 計		箇所	1				

コンクリート 1m3当たり単価表

小型構造物 24-12-25(20)BB
人力打設

第42号
機械構成比：0% 労務構成比：41.19% 材料構成比：58.81% 市場単価構成比：0% 標準単価：

代表機材規格 (積算地区)	構成比	単価 (積算地区)	代表機材規格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備考
普通作業員	21.68%		普通作業員		
特殊作業員	9.25%		特殊作業員		
土木一般世話役	8.68%		土木一般世話役		
その他(労務)			その他(労務)		
レディーミクストコンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C55%以下	58.81%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		
積算単価			積算単価		
構造物種別 A = 02 小型構造物			現場内小運搬の有無 H = 02 現場内小運搬無し		
打設工法 B = 03 人力打設			生コンクリート小型車割増 J = 01 -		
コンクリート規格 C = 01 24-12-25(20)BB			1日未満で完了する作業の適用 K = 01 -(全ての費用)		
養生工の種類 F = 01 養生無し					

第43号

管路埋戻(機械埋戻バック材) 1m3当たり単価表

タンパ 締めめ 再生クラッシャーラン RC-40
バック材 排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
土木一般世話役		人	2.5				
普通作業員		人	6.8				
バック材運転	クワ型 排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3)	時間	7.6				第55号単価表
タンパ 運転(賃料)	タンパ 60~80kg	日	3				第48号単価表
再生クラッシャーラン	RC-40	m3	127				
諸雑費		式	1				
合 計		m3	100				
単位当り		m3	1				

型枠 1m2当たり単価表

一般型枠
小型構造物

第44号
機械構成比：0% 労務構成比：100% 材料構成比：0% 市場単価構成比：0% 標準単価：

代表機労材規格 (積算地区)	構成比	単価 (積算地区)	代表機労材規格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備考
型わく工	44.66%		型わく工		
普通作業員	30.77%		普通作業員		
土木一般世話役	11.53%		土木一般世話役		
その他(労務)			その他(労務)		
積算単価			積算単価		
型枠の種類 A = 01 一般型枠 構造物の種類 B = 02 小型構造物		1日未満で完了する作業の適用 C = 01 -(全ての費用)			

第45号

消火栓撤去工 1箇所当たり単価表

機械施工 地上式 単口消火栓

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
配管工		人	0.12			9	
普通作業員		人	0.138			9	
トラック運転	クレーン装置付 4t積 2.9t吊	時間	0.342				第54号単価表
諸雑費		%	1				
合 計		箇所	1				

第46号

小型バックホウ運転 1日当たり単価表

加型 排対2次 山積0.13m³(平積0.1m³)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊運転手		人	1				
軽油	小型ローリー (パトロール給油)	L	25				
小型バックホウ(クローラ型)	標準型・排2 山積0.13/平積0.10m ³	供用日	1.78				
諸雑費		式	1				
合 計		日	1				

第47号

アスファルト塊運搬費 1m3当たり単価表

小型BH山積0.13m3 ダンプ2t積
DID区間無し 良好 運搬距離4.2km

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
ダンプトラック運転	割増なし 2t積級 良好	日	1.3				第56号単価表
合 計		m3	10				
単位当り		m3	1				

第48号

タンパ° 運転(賃料) 1日当たり単価表

タンパ° 60~80kg

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊作業員		人	1				
ガソリン	レギュラー スタンド	L	5				
<賃>タンパ(ランマ)	質量60~80kg	供用日	1.38				
諸雑費		式	1				
合 計		日	1				

第49号

発生土運搬費 1m3当たり単価表

小型BH山積0.13m3 ダンプ2t積
DID区間無し 良好 運搬距離3.6km

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
ダンプトラック運転	割増なし 2t積級 良好	日	1				第56号単価表
合 計		m3	10				
単位当り		m3	1				

第50号

タンパ° 運転(賃料) 1日当たり単価表

タンパ° 60~80kg

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊作業員		人	1				
ガソリン	レギュラー スタンド	L	4				
<賃>タンパ(ランマ)	質量60~80kg	供用日	1.61				
諸雑費		式	1				
合 計		日	1				

第51号

振動ローラ運転 1日当たり単価表

ハンドガイド式
0.5~0.6t

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊作業員		人	1				
軽油	小型ローリー (パトロール給油)	L	3				
振動ローラ (舗装用)	ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	供用日	1.23				
諸雑費		式	1				
合 計		日	1				

第52号		振動コンパクト運転 1日当たり単価表					前進型 40～60kg	
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
特殊作業員		人	1					
ガソリン	レギュラー スタンド	L	5					
振動コンパクト	前進型 運転質量40～60kg	供用日	1.4					
諸雑費		式	1					
合 計		日	1					

第54号								トラック運転 1時間当たり単価表		クレーン装置付 4t積 2.9t吊			
名	称	規	格	単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘	要
特殊運転手				人	0.17								
軽油		小型ローリー	(パトロール給油)	L	5.7								
トラック		クレーン装置付	ベーストラック4~4.5t級吊能力2.9t	時間	1								
諸雑費				式	1								
合計				時間	1								

第55号

バックホウ運転 1時間当たり単価表

加型 排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊運転手		人	0.16				
軽油	小型ローリー (パトロール給油)	L	6.3				
バックホウ(クローラ型)	標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	時間	1				
諸雑費		式	1				
合 計		時間	1				

第56号

ダンプトラック運転 1日当たり単価表

割増なし
2t積級 良好

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
一般運転手		人	1				
軽油	小型ローリー (パトロール給油)	L	22				
ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 2t積級	供用日	1.29				
タイヤ損耗費	ダンプトラック	供用日	1.29				
諸雑費		式	1				
合 計		日	1				

